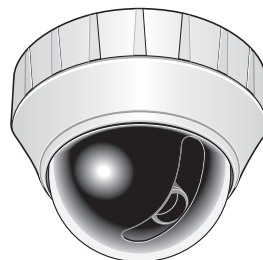
V-HORiZON ELMO

取扱説明書 PF-PT500 / PF-PT490

PF-PT500

PF-PT490

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

このカメラは NTSC カラーテレビジョン方式に準じて設計されていますので、放送方式の異なるモニターテレビや録画機器などには接続できません。

1AC6P1P3207--
L5BM2/JPEL（0507KR-SY）

もくじ

☞「もくじ」ではメニュー画面のタイトルを＜＞内に表記しています。

はじめに

メモ 本書は２機種に対応していますが、下表のとおり機種間での機能が一部異なります。必要に応じて示していますので、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

	デイナイト機能	IP66
PF-PT500	○	○
PF-PT490	−	−

（本書では、PF-PT500 のメニュー画面を使用しています。）

設定編

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 警告表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。その表示と意味は次のようになっています。次の内容（表示・図記号）をよくご理解いただいたうえで本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性があります。

■ 図表示の例

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。

●の記号は、しなければならない行為を示しています。

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ キャビネットのお手入れとご注意

お手入れのしかた

電源プラグからコンセントを抜き、柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは…

水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。
  変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は､その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ 長時間使用しないときは

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 内部の掃除について

機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。

警告

万一の場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのままご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ キャビネットをはずしたり、改造しない

内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

■ 雷が鳴り出したら使わない

電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。

■ ぬらさない

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
また、天井や壁などに対する防水処理を正しく行ってください。
漏電が起こると火災の原因となります。

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけない

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- 台所や湿度の高い部屋、結露しやすいところ、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。ほこりにより、ショートや発熱が起こります。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

■ 電源コード接続時の注意

電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま、または電源コードを束ねたまま使用しないでください。発熱が起こります。

■ 内部に異物を入れない

金属類や燃えやすいものなど、異物を落とし込んだりしないでください。

■ 国外では使用しない

本機は日本国内のみで使用できます。外国では、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

⚠ 注意　以下の記載事項を守らないと火災や、感電、故障の原因となることがあります。

■ 設置場所の注意

- 湿気・ほこりの多い場所や、油煙・湯気が当たる場所に設置すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 磁気を持っているものの近くや、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに設置すると、事故、故障の原因となることがあります。
- 本機の総重量を考慮して、平面で耐久性がある天井や壁をお選びください。
  機器の落下などにより、けがの原因となることがあります。

使用環境：		
使用環境：温度	PF-PT500：－10℃～50℃
	PF-PT490：－10℃～40℃
湿度	90% RH 以下(結露なきこと)

■ コード類は正しく配線する

足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ 持ち運びの注意

電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしたことを確認のうえ、行ってください。

インフォメーション

特　長

■ 電動ズームパンフォーカスオートアイリスレンズを装備
●その被写界深度により、より広い範囲に焦点を合わせることができます。

■ 電動パンチルト機能装備

■ 天井や壁に取り付け可能

■ カメラの監視位置を最大 16 ポジションの登録が可能

■ シーケンシャルパン、オートパンの二つのオートモード搭載

■ 監視映像内の侵入者を検知し、アラームを警告するモーションセンサー搭載

■ 外部スイッチあるいはモーションセンサーで侵入者を検知すると、その映像をズームアップし、アラーム警告を表示

■ ハードディスクレコーダーを接続すると、アラーム出力によるアラーム検知映像の録画が可能

■ 遠隔操作が可能なハードディスクレコーダーやシステムコントローラーなどと接続して、カメラをコントロール

■ プライバシー保護のため、部分的に映像を隠すマスキング設定が可能

■ メニュー画面で用途に応じた設定が可能

■ パスワードでメニュー画面へのアクセスを制限

PF-PT500

■ IP66 国際防水防塵基準に準拠

■ デイナイト機能内蔵
●周囲の明るさに応じてカラー／白黒を自動で切り換えます。

■ 付属品

●設置説明書 ······················ 1
●カバーシート ······················ 1

PF-PT490

●ネジ ······················ 1

PF-PT500

●クッションシート ······················ 1
●六角レンチ(大・小) ······················ 各 1

電源を入れたとき、モニターにカメラのアドレス（ADDRESS）、通信プロトコル（CONTROL）、通信速度（BAUD RATE）を約 5 秒間表示します。
<PRIVACY MASK> が “ON” のときは、モニターの背景は黒になります。

（例）

便利な使いかた

■ 複数のプリセットポジションを登録したい
⇨PRESET POSITION（31 ページ参照）

■ 登録したすべてのプリセットポジションで監視したい
⇨AUTO MODE → SEQUENTIAL PAN（34 ページ参照）

■ 左右にカメラを動かして監視したい
⇨AUTO MODE → AUTO PAN（35 ページ参照）

■ 手動で画角を変更した後、元の監視モードに自動で戻したい
⇨AUTO RETURN（37 ページ参照）

■ 外部のドアスイッチや赤外線センサーなどと接続したい
⇨ALARM（38 ページ参照）

■ 怪しい人影などを検知したら警告する
⇨ALARM → MOTION（41 ページ参照）

■ アラーム検知した映像を録画しておきたい
⇨OPTION → ALARM LINE OUT（50 ページ参照）

■ メニュー画面へのアクセスを制限する
⇨PASSWORD（15 ページ参照）

■ プライバシー保護のため、映像の一部を隠したい
⇨OPTION → PRIVACY MASK（46 ページ参照）

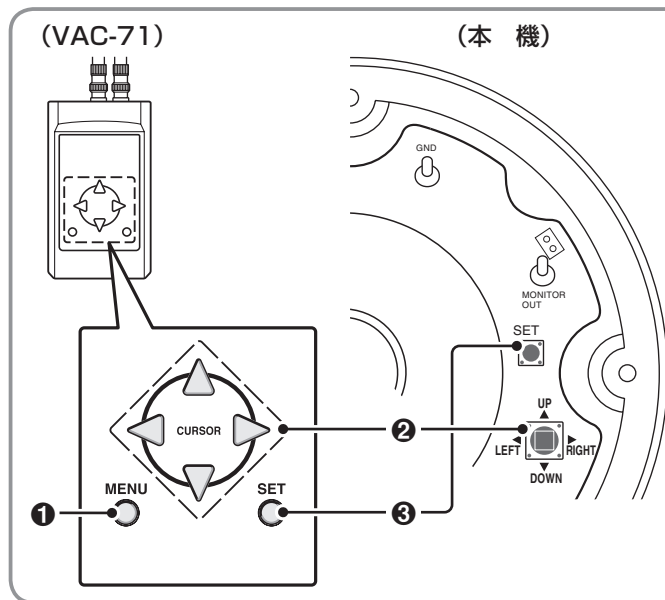
■ 遠隔操作可能なハードディスクレコーダーやシステムコントローラーなどからカメラをコントロールしたい
⇨OPTION → CONTROL（49 ページ参照）

■ PF-PT500
外部スイッチなどからデイナイト機能の“カラー”、“白黒”を切り換えたい
⇨DAY/NIGHT（28 ページ参照）

設定や調整の操作ボタンについて

カメラコントロールユニット（VAC-71: 別売）で設定する

設定や調整時に本機を遠隔操作することができます。
詳しくは、カメラコントロールユニットの取扱説明書をご参照ください。

- 設定や調整が完了したら、必ずカメラコントロールユニットは取りはずしてください。
  また、ケーブル補償器や映像分配装置を使用した場合、制御の保証はできません。

本機の操作ボタンで設定する

モニターの接続については、別冊の「取扱説明書（設置）」をご参照ください。

- 設定や調整が完了したら、必ず接続をはずし、ドームカバーを取り付けてください。

■ メインメニューを表示するには

VAC-71：MENU ボタン ❶ を押す
本　　機：SET ボタン ❸ を 1 秒以上押し続ける

■ メニュー画面を操作するには

- 選択ボタン ❷ で項目の選択や設定値を変更します。
- SET ボタン ❸ で詳細設定画面に入ります。

■ 水平 / 垂直回転・ズーム操作をするには

- ライブ中（メニュー画面を表示していない状態）、選択ボタン ❷ で操作します。

  ＜水平 / 垂直回転＞
  水平（パ　ン）：LEFT ◀ 、または RIGHT ▶ を押す
  垂直（チルト）：UP ▲、または DOWN ▼ を押す

  ＜ズーム操作＞
  ズームイン（望遠）　：RIGHT ▶ を押す
  ズームアウト（広角）：LEFT ◀ を押す

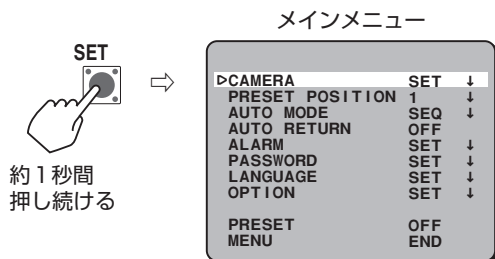
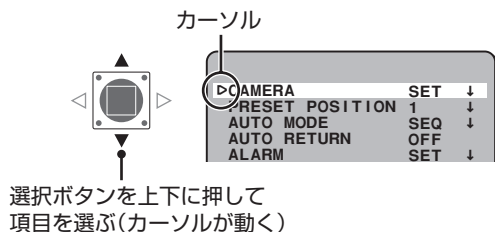
- SET ボタン ❸ で、水平 / 垂直回転とズーム操作を切り換えます。

メニューの流れ

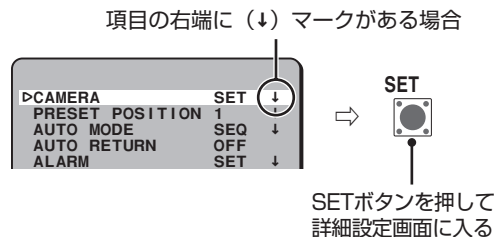
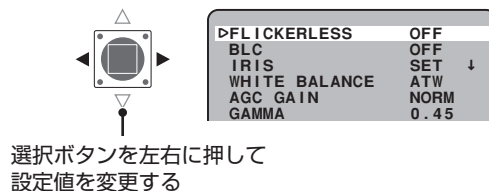
メインメニュー
·CAMERA SET y
PRESET POSITION 1 y
AUTO MODE SEQ y
AUTO RETURN OFF
ALARM SET y
PASSWORD SET y
LANGUAGE SET y
OPTION SET y
PRESET OFF
MENU END
·FLICKERLESS OFF
BLC OFF
IRIS SET y
WHITE BALANCE ATW
AGC GAIN NORM
GAMMA 0.45
SHUTTER 60
APERTURE HIGH
※ DAY/NIGHT AUTO y
10ページ A に続く
※PF-PT500のみ表示されます。
PRESET NO.1
·PRESET POSITION ON y
PRESET ID OFF
SKIP OFF
PAN/TILT
ZOOM
SEQ
SEQUENTIAL PAN
·ORDER STEP
PAUSE TIME 5S
SPEED NORM
RUN SET
PAN
AUTO PAN
·POSITION STARTy
PAUSE TIME 5S
SPEED NORM
RUN SET
PAN/TILT
OPTION
·TITLE
PRIVACY MASK SET y
CONTROL COAX
ADDRESS 1
ALARM LINE OUT OFF
10ページ C に続く
ON
AUTO RETURN
·MODE SEQ
TIME 1M
ALARM IN SETTING
·POLARITY NO
MOVE OFF
ALARM OUT OFF
LANGUAGE
·LANGUAGE ENGLISH
LANGUE FRENCH
IDIOMA SPANISH
ALARM SETTING
·ALARM IN 1 y
ALARM OUT NO
MOTION OFF
uAREA SET y
uSENSITIVITY SET y
ZOOM OFF
uZOOM TIME 5S
DURATION 5S
ALARM SIGN OFF
yyy
PASSWORD
·PASSWORD LOCK OFF y
PASSWORD CHANGE SET y
10ページ B に続く
SENSITIVITY
<MOVE>
5
<TIME>
1
TEST SET y

A
▷FLICKERLESS OFF
BLC OFF
IRIS SET ↓
WHITE BALANCE ATW
AGC GAIN NORM
GAMMA 0.45
SHUTTER 60
APERTURE HIGH
DAY/NIGHT AUTO ↓
PRESET OFF
MENU BACK
IRIS SETTING
<LEVEL>
▷ 20
AWC
AWC SETTING
▷AWC LOCK SET
GO TO MWB SET ↓
MWB
MWB SETTING
▷ R 43
B 66
AUTO
DAY/NIGHT SETTING
▷LEVEL LOW
BURST OFF
B/W
DAY/NIGHT SETTING
▷BURST OFF
B
PASSWORD
▷PASSWORD LOCK OFF ↓
PASSWORD CHANGE SET ↓
PASSWORD
▷ 1234 SET ↓
PASSWORD
<NEW PASSWORD>
▷ 1234 SET ↓
PASSWORD
<NEW PASSWORD>
▷ ???? SET ↓
C
OPTION
▷TITLE OFF
PRIVACY MASK SET ↓
CONTROL COAX
ADDRESS 1
ALARM LINE OUT OFF
PRESET OFF
MENU BACK
ON
TITLE SETTING
→ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
0123456789 :-
ID ????????????????
POSITION SET ↓
485S/485P
CONTROL SETTING
▷BAUD RATE 19200
TERMINATE OFF
▷MASK 1 OFF ↓
MASK 2 OFF
MASK 3 OFF
MASK 4 OFF
MASK 5 OFF
MASK 6 OFF
MASK 7 OFF
MASK 8 OFF
MASK SIZE NORM
PREVIEW SET ↓
PRESET OFF
MENU BACK
ON
DIRECTION
SIZE
POSITION

メニュー画面への入りかた

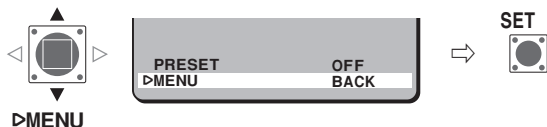
1 メインメニューへのアクセス

2 項目の選択

3 詳細設定画面へ進む

4 設定値の変更

選択ボタンを左右に押して
設定値を変更する

5 メニュー画面の終了

設定が終了したら、〔MENU〕を選び、“END”に設定してから
SET ボタンを押す

■ 前画面に戻るには

〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

■ 設定したメニュー画面を「初期値」(工場出荷時）に戻すには

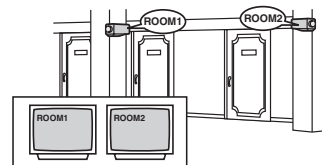
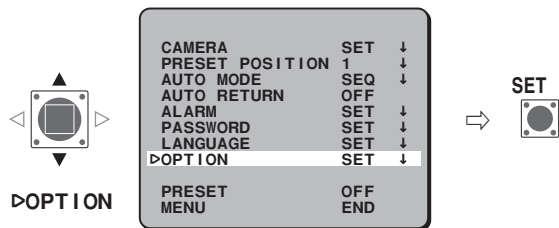
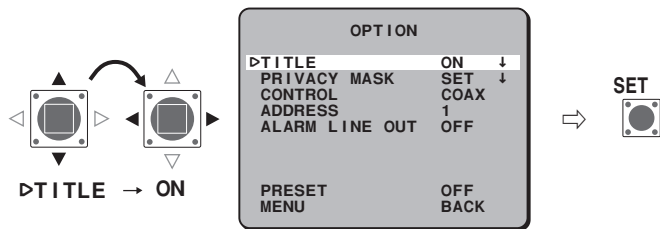
〔PRESET〕を選び、“OFF” を “ON” に設定してから SET ボタンを押す

注意
- メニュー画面を一度に初期値に戻すには、メインメニューの〔PRESET〕を "ON" に設定し、SET ボタンを押してください。但し、通信プロトコルとカメラアドレスは初期化されません。
- 何も操作せずに約 3 分経過すると、メニュー画面は自動的に終了します。

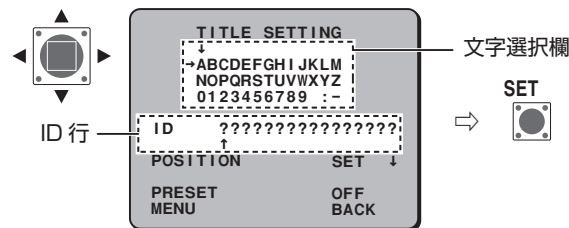
■ メインメニューガイド

項目	内容		参照ページ
CAMERA	カメラを設定する（フリッカー補正、逆光補正、アイリスレベル、ホワイトバランス、ゲイン、ガンマ、シャッタースピード、アパーチャー、デイナイト：PF-PT500）		17
PRESET POSITION	監視位置を登録する（16 ポジション）		31
AUTO MODE	カメラを自動で動かす（シーケンシャルパン、オートパン）		33
AUTO RETURN	解除した監視モードに自動で復帰する		37
ALARM	アラームを設定する		38
PASSWORD	パスワードを設定する／解除する		15
LANGUAGE	メニュー画面の表示言語を選ぶ		51
OPTION	TITLE	カメラにタイトルをつける	13
	PRIVACY MASK	映像の一部を隠す（8 か所）	46
	CONTROL	コントローラーの通信プロトコルを設定する	49
	ADDRESS	カメラアドレスを設定する	50
	ALARM LINE OUT	通信ラインにアラーム出力を設定する	50
PRESET	設定した内容（値）を初期化する		本ページ左
MENU	メニュー画面を終了する／前画面に戻る		本ページ左

カメラにタイトルをつける　< TITLE >

カメラに設置場所などのタイトルをつけることができます。タイトルはモニター上に表示されるので、複数台のカメラで監視するときに映像を区別できます。

1 〔OPTION〕を選び、SET ボタンを押す

2 〔TITLE〕を選び、“ON”に設定し、SET ボタンを押す

⇨TITLE SETTING 画面になります。

3 文字選択欄から文字を選び、SET ボタンを押す

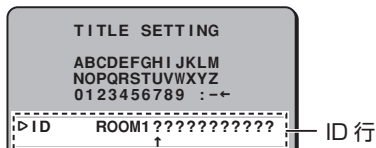
（→）と（↓）の矢印が指している文字を選択します。

⇨ID 行に選択した文字を表示します。

■ 訂正するには

ID 行を選び、訂正する文字に (↑) を移動してから新たに文字を選ぶ

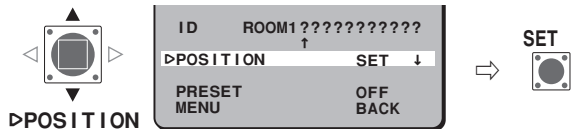
4 3 を繰り返してタイトルを設定する

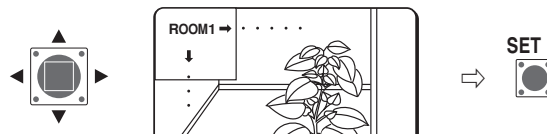
● 最大 16 文字まで設定できます。

例：ROOM1

メモ 残りの " ? " はモニターに表示されませんが、文字を何も入力しないままメニュー画面を終了すると、「???・・・」のままモニターに表示します。「???・・・」を消すために、〔OPTION〕画面の〔TITLE〕を "OFF" に戻してください。

■ モニターにタイトルを 2 行で表示するには

ID 行の 2 行目の頭文字に (↑) を移動し、文字選択欄から改行マーク (←) を選ぶ

5 〔POSITION〕を選び、SET ボタンを押す

⇨ ライブ映像にタイトルを表示します。

6 タイトルの表示位置を決めて、SET ボタンを押す

●TITLE SETTING 画面に戻ります。

■ 設定した名前を消すには

〔PRESET〕を“ON”に設定し、SET ボタンを押す
⇨ 全ての文字が“？”になります。

7 〔MENU〕を“END”に設定し、SET ボタンを押す

⇨ メニュー画面を終了します。

■ 前画面に戻るには

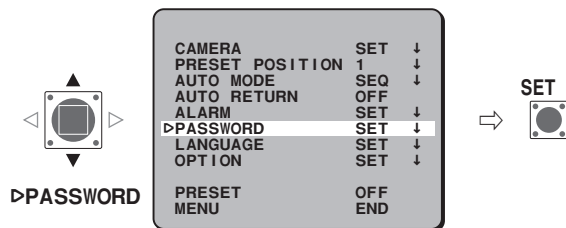
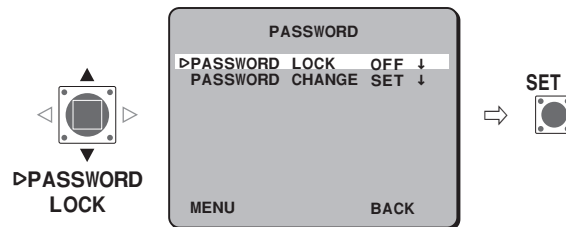
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

メモ
● 〔ALARM SIGN〕(44 ページ）を "ON" にすると、アラーム信号が入ったとき、モニターのカメラタイトルが点滅します。
〔MOTION〕(41 ページ）を "ON" にすると、モーションセンサーが反応したときも点滅します。
点滅する時間は、〔DURATION〕(43 ページ) で設定した時間です。
● 〔PRIVACY MASK〕(46 ページ）を“ON”にすると、カメラタイトルは表示されません。

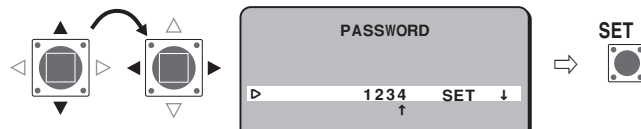
はじめに

パスワードを設定する / 解除する　＜ PASSWORD ＞

パスワードを設定してメニュー画面への不正なアクセスを制限できます。設定後、メニュー画面にアクセスするときは、パスワードの入力が必要です。

1 〔PASSWORD〕を選び、SET ボタンを押す

2 〔PASSWORD LOCK〕を選び、SET ボタンを押す

⇨ パスワードの入力画面になります。

3 パスワードを入力し、SET ボタンを押す

☞ 初めてパスワードを設定する場合は、必ず工場出荷時パスワード "1234" を入力してください。

⇨"OK" 表示が出ます。

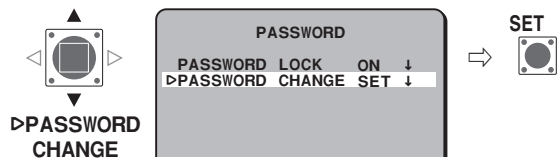
注意 パスワードを間違えると "NG" 表示が出ます。3 回連続で間違えるとパスワードが入力できなくなります。最初からやり直してください。

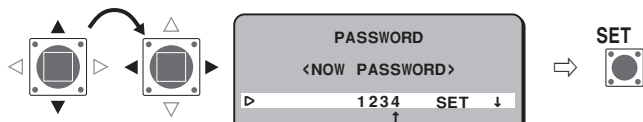
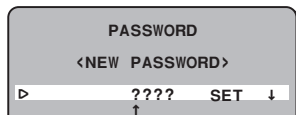
4 SET ボタンを押す

⇨〔PASSWORD LOCK〕が“ON”になります。

- “1234”は工場出荷時のパスワードですので、パスワードの変更をお勧めします。4 へ進んでください。
- 設定を終了するには 8 へ進んでください。

 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

5 〔PASSWORD CHANGE〕を選び、SET ボタンを押す

⇨ 現パスワードの入力画面になります。

6 現在のパスワードを入力し、SET ボタンを押す

⇨ 新パスワードの入力画面になります。

7 新しいパスワード（4 桁の数字）を入れ、SET ボタンを押す

メモ パスワードは忘れないように書き留めておいてください。

⇨ “OK” 表示が出ます。

8 〔MENU〕を“END”に設定し、SET ボタンを押す

⇨ メニュー画面を終了します。

■ 前画面に戻るには

〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

■ パスワードロックを解除するには

❶〔PASSWORD LOCK〕を選び、“ON” のまま SET ボタンを押してパスワードを入力する

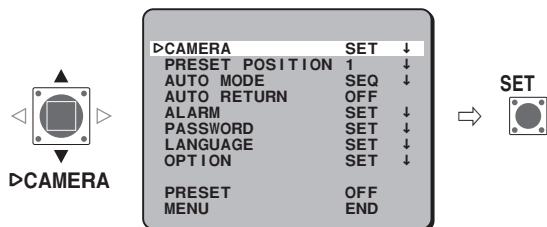
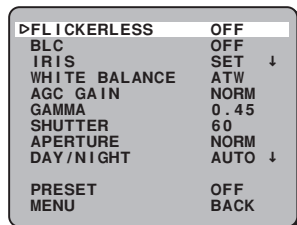
❷ “OK” 表示が出たら、〔MENU〕を選び、"BACK" のまま再度 SET ボタンを押す
⇨〔PASSWORD LOCK〕が “OFF” になります。

はじめに

カメラを設定する ＜ CAMERA ＞

メニュー画面にアクセスし、カメラの設定や調整をおこないます。

1 〔CAMERA〕を選び、SET ボタンを押す

⇨

⇨ カメラ設定画面になります。

■ メニュー画面を終了するには

〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

■ 前画面に戻るには

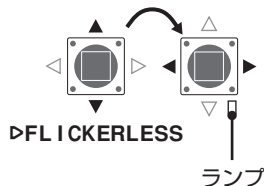
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

■ カメラ設定画面ガイド

項目	内容	参照ページ
FLICKERLESS	フリッカー（ちらつき）補正を行う	18
BLC	逆光補正を行う	19
IRIS	アイリスレベルを調整する	20
WHITE BALANCE	ホワイトバランスを設定する	21
AGC GAIN	AGC レベルを設定する	24
GAMMA	ガンマ値を設定する	25
SHUTTER	シャッタースピードを設定する	26
APERTURE	被写体の輪郭補正を設定する	27
(PF-PT500) DAY/NIGHT	デイナイト機能を調整する	28

フリッカー（ちらつき）を補正する ＜ FLICKERLESS ＞

東日本（電源周波数 50Hz）地域の蛍光灯照明下でのフリッカーを補正します。

1 〔FLICKERLESS〕を選び、"ON" に設定する

■ ON（ランプ点滅）
フリッカーを補正する

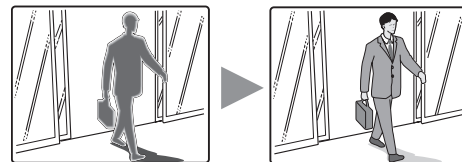
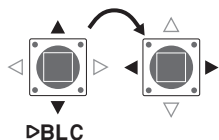
■ OFF（ランプ点灯）
フリッカーを補正しない

■ 前画面に戻るには
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

■ メニュー画面を終了するには
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

- 〔FLICKERLESS〕を "ON" に設定すると、シャッタースピード（26 ページ）は 1/100 秒となり変更できません。また、〔SHUTTER〕の設定値表示は”---”になります。
- 〔FLICKERLESS〕を "OFF" に戻すと、シャッタースピードも元の設定値に戻ります。

逆光を補正する　<BLC>

被写体が逆光で見にくい場合は、最も適切な補正方法を設定してください。

1 〔BLC〕を選び、補正方法を設定する

■ **CENT（中央重点測光）**
画面中央部分を重点的に測光して補正する
（逆光補正したい被写体が画面中央の場合）

■ **MULT1（多分割評価測光：標準モード）**
画面全体を測光・評価して補正する
（逆光補正したい被写体が画面の中央だけでない場合）

■ **MULT2（多分割評価測光：高モード）**
MULT1 と比べ、明るさの変動に対する追従性が速くなる

■ **OFF**
逆光補正を行わない

■ **前画面に戻るには**
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

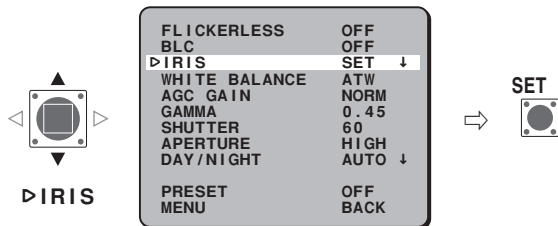
■ **メニュー画面を終了するには**
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

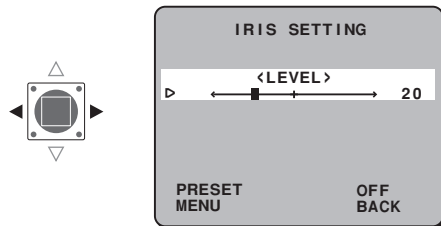
　メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

アイリスレベルを調整する <IRIS>

明るさの調整が必要なときは、以下の調整を行ってください。

1 〔IRIS〕を選び、SET ボタンを押す

⇨

⇨IRIS SETTING 画面になります。

2 明るさ（アイリス）の調整をする（0-100）

● 値が大きいほど明るくなります。

3 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨ カメラ設定画面に戻ります。

■ メニュー画面を終了するには

〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

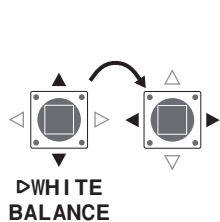
注意
- 非常に明るい光源下ではレンズに入る光量の調節ができなくなり、画面に明るい帯（スミア）が入るなどの現象が起こる場合があります。
  照明の角度を変えるなどして光量を落としてください。
- 蛍 光灯の照明下で被写体の映像がちらつく場合は、白熱灯に交換してください。

設定編

メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

ホワイトバランスを設定する <WHITE BALANCE>

本機はオートホワイトバランス "ATW"（初期設定）により光源が変化しても自然な色合いを得られるように設定されていますが、画面全体の色調が適切でないと思われる場合は、手動（MWB）で赤と青の色合いを微調整したり、設定値を変更してください。

1 〔WHITE BALANCE〕を選び、設定値を変更する

■ ATW（オート）
ホワイトバランスの自動調整

■ AWC（ワンプッシュ）
白い紙や壁を映すことによりホワイトバランスを調整

■ 3200（屋内：固定）
室内(目安 : 色温度 3200K）に適したホワイトバランス

■ 5600（屋外：固定）
昼間の太陽光（目安 : 色温度 5600K）に適したホワイトバランス

■ FLUO（蛍光灯：固定）
光源が蛍光灯の場合（目安 : 色温度 4200K）に適したホワイトバランス

■ MWB（手動調整）
赤と青の色合いを手動で微調整

2 詳細設定が必要な "AWC" または "MWB" を選んだ場合は、SET ボタンを押す

⇨ それぞれの設定画面になります。

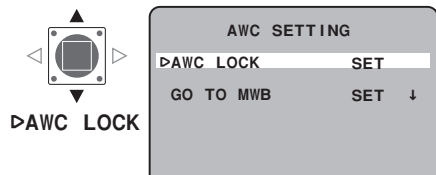
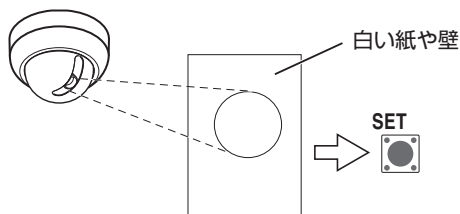
- "AWC" を選んだ場合は、次ページ A へ進んでください。
- "MWB" を選んだ場合は、23 ページ B へ進んでください。

■ 前画面に戻るには
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

■ メニュー画面を終了するには
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

A ワンプッシュ設定（AWC）

1 〔AWC LOCK〕を選ぶ

2 カメラを白い紙や壁に向けて画面全体に映しながらSET ボタンを押す

⇨ カーソル " ▷" が消えている間にホワイトバランスを調整します。
約２秒後、再びカーソル " ▷" が表示されると調整完了です。

● 調整がうまくいかなかった場合は、再度 SET ボタンを押してください。

■ **色合いを微調整したい場合**

AWC SETTING 画面で〔GO TO MWB〕を選び、SET ボタンを押す。

⇨MWB SETTING 画面になります。色合いを手動で設定してください。（次ページ参照）

メモ：〔GO TO MWB〕からMWB SETTING画面に移ると、〔WHITE BALANCE〕の設定値は "MWB" に切り換わります。

3 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

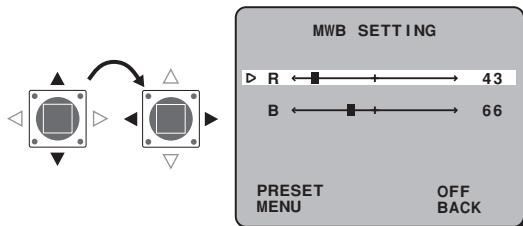
⇨ カメラ設定画面に戻ります。

■ **メニュー画面を終了するには**

〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

設定編

B 手動調整（MWB）

1 "R" または "B" を選び、色合いを調整する（0 ～ 255）

R：赤色の調整
B：青色の調整
- 値が大きいほど各色合いが濃くなります。

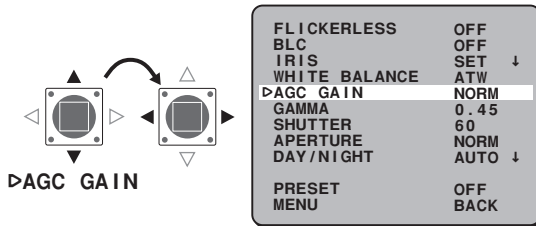
2 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨ カメラ設定画面に戻ります。

■ メニュー画面を終了するには
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

AGC レベルを設定する　<AGC GAIN>

暗い場所などでの感度（AGC*）を設定します。

1 〔AGC GAIN〕を選び、レベルを変更する

■ NORM
標準設定

■ HIGH（暗い被写体）
NORM よりも低照度の条件で明るく映る設定
- ノイズ発生や荒い画像の原因となることがあります。

■ OFF
固定ゲイン設定

■ 前画面に戻るには
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

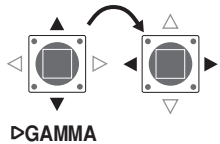
■ メニュー画面を終了するには
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

***AGC（Auto Gain Control）とは**
カメラの映像信号の大きさ（ゲイン）を被写体の明るさに応じて最適なレベルに自動調節する機能です。

設定編

ガンマ値を設定する　<GAMMA>

ご使用のモニターに適したガンマ値に変更できます。

1 〔GAMMA〕を選び、ガンマ値を変更する

■ 0.45
γ = 0.45 のガンマ値

■ 1
γ = 1 のガンマ値

■ **前画面に戻るには**
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

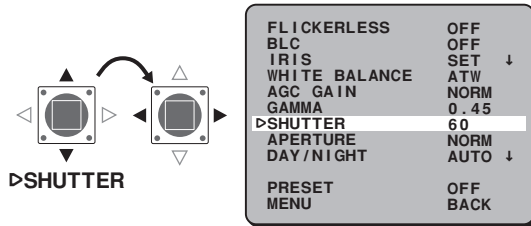
■ **メニュー画面を終了するには**
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

＊ガンマ値について
ガンマ（γ）とは画像階調の応答特性を示す数値です。
画像データの入出力機器はそれぞれ固有のガンマ値を持ち、全体がガンマ 1 になるよう補正する必要があります。
たとえば CRT モニターのガンマ値が 2.2 であれば本機のガンマ値を 0.45 に設定すれば 2.2 × 0.45 でほぼ「1」となります。

 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

シャッタースピードを設定する　<SHUTTER>

動きの速い被写体などに適したシャッタースピードに変更することができます。

1〔SHUTTER〕を選び、シャッタースピードを変更する

● 60、100、250、500、1000、2000、4000、10000から選びます。
（例：「60」は 1/60 秒を表します。）

注意 シャッタースピードが速いほど動きの速い被写体に適していますが、映像は暗くなります。

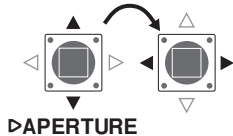
■ **前画面に戻るには**
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

■ **メニュー画面を終了するには**
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

設定編

被写体の輪郭補正を設定する　<APERTURE>

アパーチャー * 設定により被写体の輪郭を補正します。最も適切な設定を選んでください。

1 〔APERTURE〕を選び、モードを設定する

■ **前画面に戻るには**
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

■ **メニュー画面を終了するには**
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

■ LOW
NORM よりも輪郭をソフトにする

■ NORM
標準設定

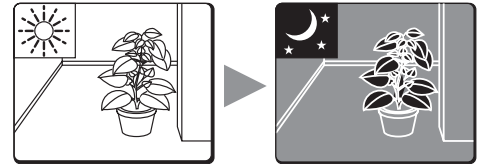
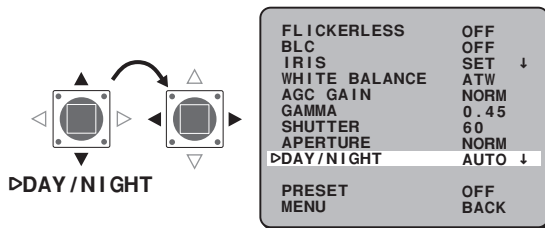
■ HIGH
NORM よりも輪郭を鮮明にする

■ OFF
輪郭補正を行いません。

＊アパーチャーとは
輪郭補正のことです。輪郭を強調するほど解像度感が向上します。

 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

デイナイト機能を調整する：PF-PT500　<DAY/NIGHT>

デイナイト機能とは、周囲の明るさに応じて、例えば昼間は「カラー」、夜間は認識しやすい「白黒」に映像が切り換わる機能です。
初期設定では周囲の明るさを検知して自動的に切り換わる "AUTO"（自動）ですが、切り換わりかたを調整する、あるいは状況に応じてカラー / 白黒どちらかに固定することなどができます。

1 〔DAY/NIGHT〕を選び、モードを設定する

注意 カラーから白黒、白黒からカラーに映像が切り換わるとき、本体から切換え音が聞こえたり、映像が歪むことがありますが、故障ではありません。

■ AUTO
周囲の明るさに応じてカラーと白黒が自動的に切り換わる（デイナイト機能）

■ COLOR
常にカラー映像（常時明るい場所などの場合）

■ B/W（Black-and-White）
常に白黒映像（撮影感度を優先する場合など）

メモ 通信機器を接続していると、制御装置から出される AUX コマンドでモードを変更できます。
AUX1: カラー
AUX2: 白黒
AUX3: 自動

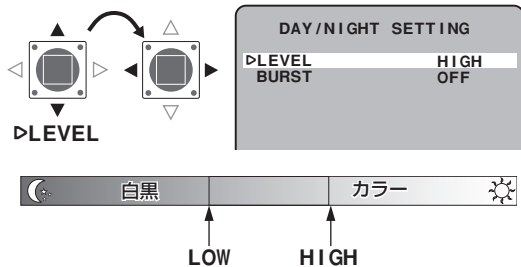
2 詳細設定が必要な "AUTO" または "B/W" を選んだ場合は、SET ボタンを押す

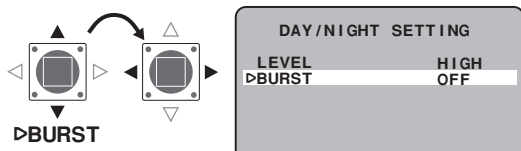
⇨ それぞれの設定画面になります。

- "AUTO" を選んだ場合は、次ページ A へ進んでください。
- "B/W" を選んだ場合は、30 ページ B へ進んでください。

設定編

A 自動設定の調整（AUTO）

1 〔LEVEL〕を選び、デイナイトの切り換えレベルを設定する

LOW ：HIGH よりも暗めで切り換わる
HIGH：LOW よりも明るめで切り換わる

2 〔BURST〕を選び、バースト信号 * の ON/OFF を設定する

ON ：白黒映像にバースト信号を入れる
● カラーから白黒に切り換わったときに起こる映像の乱れを無くします。
OFF ：白黒映像のバースト信号無効

3 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨ カメラ設定画面に戻ります。

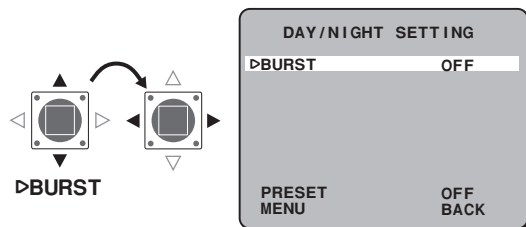
■ **メニュー画面を終了するには**
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

● 赤外線照明を使用している場合、照明が被写体に強く反射すると白黒からカラーに切り換わることがあります。赤外線照明の影響を受けない位置に設置してください。
● 〔MOTION〕（34 ページ）を "ON" にしている場合、映像が切り換わるときは、モーション検知が中断されます。

* バースト信号とはカラー再生のために必要な色同期信号です。

 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

B 白黒設定の調整（B/W）

1〔BURST〕を選び、バースト信号 * の ON/OFF を設定する

ON　：白黒映像にバースト信号を入れる
- カラーから白黒に切り換わったときに起こる映像の乱れを無くします。

OFF：白黒映像のバースト信号無効

* バースト信号とはカラー再生のために必要な色同期信号です。

2〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

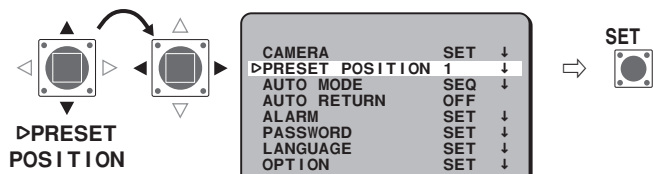
⇨ カメラ設定画面に戻ります。

■ **メニュー画面を終了するには**
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

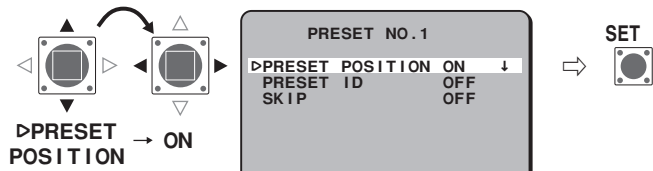
設定編

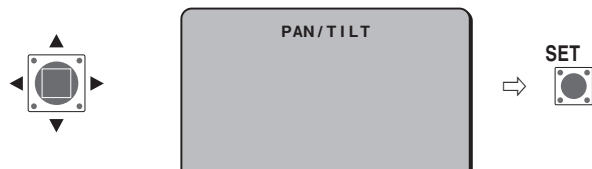
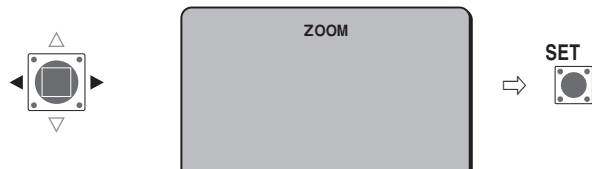
監視位置を登録する　< PRESET POSITION >

監視するカメラの向きや映像の大きさなどを登録しておくことができます（最大 16 ポジション）。登録したポジションを「プリセットポジション」と呼びます。

1 〔PRESET POSITION〕の登録番号（No.1-16）を選び、SET ボタンを押す

⇨PRESET NO. 画面になります。

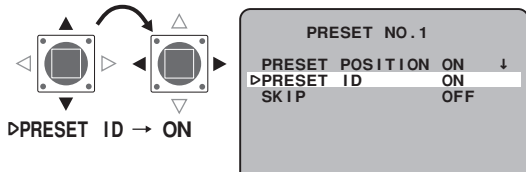
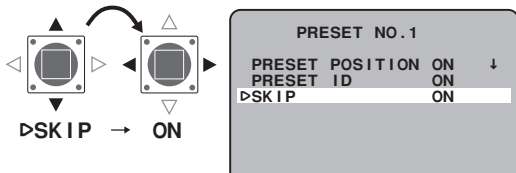
2 〔PRESET POSITION〕を "ON" に設定し、SET ボタンを押す

"PRESET NO.1" は、ON 設定のみです。

⇨PAN/TILT 画面になります。

3 選択ボタンで監視方向を設定し、SET ボタンを押す

4 選択ボタンで映像の大きさを設定し、SET ボタンを押す

⇨PRESET NO. 画面に戻ります。

メモ 遠隔操作が可能なハードディスクレコーダーやシステムコントローラーを接続している場合は、PAN/TILT、ZOOM はひとつの画面で設定します。

 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

5 監視中、PRESET 番号をモニターに表示する場合は、〔PRESET ID〕を "ON" に設定する

6 シーケンシャルパンで監視中、このポジションをスキップさせる場合は、〔SKIP〕を "ON" に設定する

7 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨ メインメニューに戻ります。

■ メニュー画面を終了するには

〔MENU〕を”END”に設定し、SET ボタンを押す

■ 監視位置を複数登録するには

1 ～ 7 をくり返す

■ プリセットポジションを取り消すには

メインメニューで取り消したいプリセットポジションを選び、〔PRESET POSITION〕を "OFF" にする

- 登録した位置情報は取り消されません。
- "PRESET NO.1" は "OFF" に設定できません。

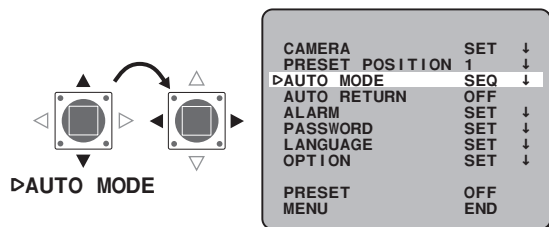
■ 位置情報を変更するには

❶ メインメニューで変更したいプリセットポジションを選び、SET ボタンを押す
❷ 2 ～ 7 を設定する

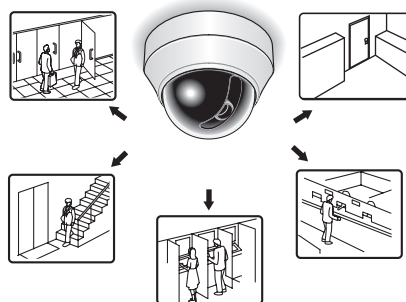
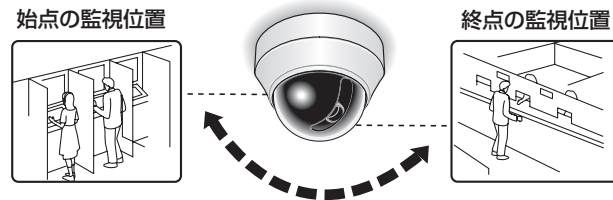
設定編

カメラを自動で動かす　< AUTO MODE >

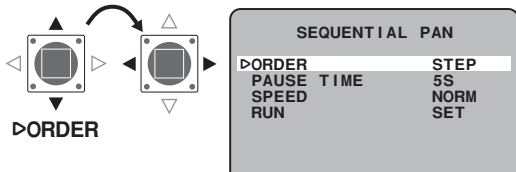
複数のプリセットポジションに連続移動したり、設定した範囲を左右に往復したり、カメラを自動で動かして監視します。

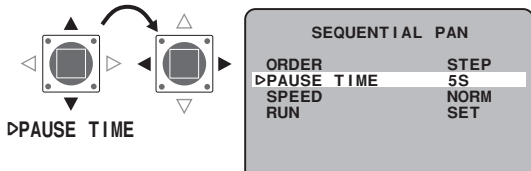
1 〔AUTO MODE〕を選び、モードを設定する

2 SET ボタンを押す

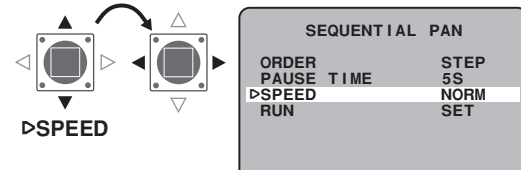
⇨"SEQ" を選んだ場合は、次ページへ進んでください。
"PAN" を選んだ場合は、35 ページへ進んでください。

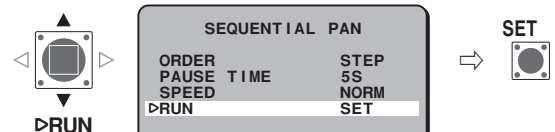
 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

プリセットポジションに連続移動する　< SEQUENTIAL PAN >

メモ シーケンシャルパンを実行するには、プリセットポジションを最低２つ登録してください。

1 〔ORDER〕を選び、モードを設定する

STEP　　：プリセットポジションの番号順に移動する
RANDOM：プリセットポジションをランダムに移動する

2 〔PAUSE TIME〕を選び、各プリセットポジションの停止時間を設定する

● 5S、10S、15S、20S、30S、45S、60S から選びます。(S:秒)

3 〔SPEED〕を選び、プリセットポジション間の移動スピードを設定する

SLOW：NORM より遅い
NORM：標準
FAST　：NORM より速い

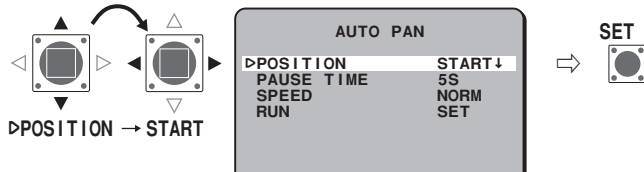
4 〔RUN〕を選び、SET ボタンを押す

⇨ シーケンシャルパンを開始します。

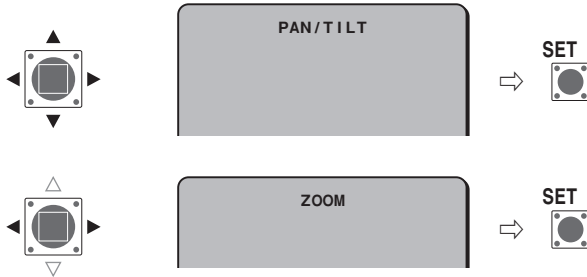
■ シーケンシャルパンを中止するには

選択ボタン、または SET ボタンを押す

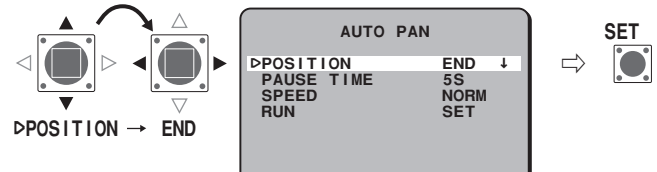
設定編

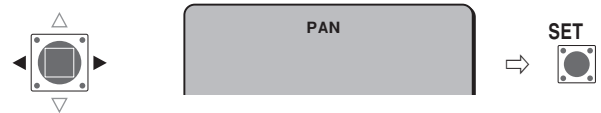
間欠的に左右を往復する　< AUTO PAN >

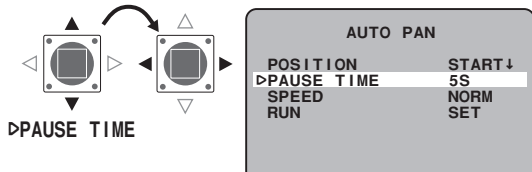
1 〔POSITION〕を "START" に設定し、SET ボタンを押す

⇨PAN/TILT 画面になります。

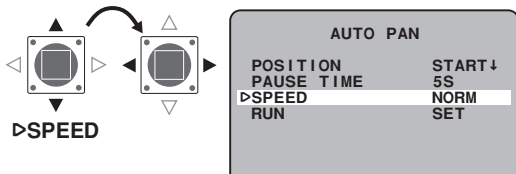
■ 監視範囲の開始位置と映像の大きさを設定する

⇨AUTO PAN 画面に戻ります。

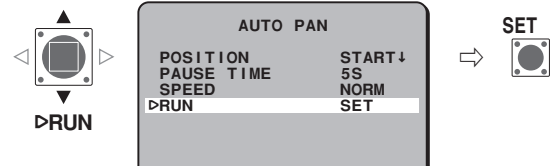
メモ　遠隔操作が可能なハードディスクレコーダーやシステムコントローラーを接続している場合は、PAN/TILT、ZOOM はひとつの画面で設定します。

2 〔POSITION〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

⇨PAN/TILT 画面になります。

■ 終点位置を設定する

⇨AUTO PAN 画面に戻ります。

3 〔PAUSE TIME〕を選び、開始位置と終点位置で停止している時間を設定する

● 5S、10S、15S、20S、30S、45S、60S から選びます。(S：秒)

4 〔SPEED〕を選び、開始位置と終点位置を移動するスピードを設定する

SLOW：NORM より遅い
NORM：標準
FAST：NORM より速い

5 〔RUN〕を選び、SET ボタンを押す

⇨ オートパンを開始します。

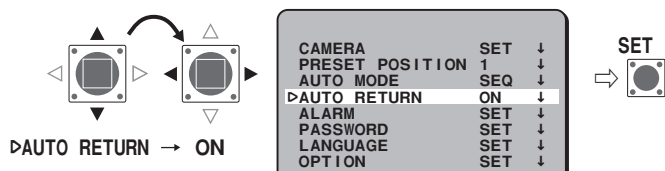
■ シーケンシャルパンを中止するには

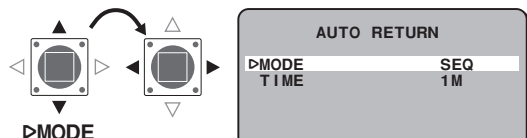
選択ボタン、または SET ボタンを押す

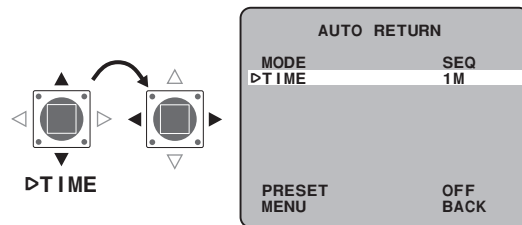
設定編

解除した監視モードに自動で復帰する　< AUTO RETURN >

メニュー画面操作や、手動で画角操作した場合、設定している監視モード（プリセットポジション、シーケンシャルパン、オートパン）は解除されますが、一定時間経過後、元の監視モードに自動で復帰できるよう設定できます。

1 〔AUTO RETURN〕を "ON" に設定し、SET ボタンを押す

⇨AUTO RETURN 画面になります。

2 〔MODE〕を選び、通常設定している監視モードに設定する

SEQ　　：シーケンシャルパン
PAN　　：オートパン
PRE1-16：プリセットポジション（PRESET NO. 1-16）

3 〔TIME〕を選び、解除されてから自動復帰するまでの時間を設定する

- 10S、20S、30S、40S、50S、1M、2M、3M、4M、5M、6M、7M、8M、9M、10M から選びます。（S:秒、M:分）

4 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨ メインメニューに戻ります。

■ メニュー画面を終了するには

〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

■ オートリターンを解除するには

メインメニューで〔AUTO RETURN〕を "OFF" にする

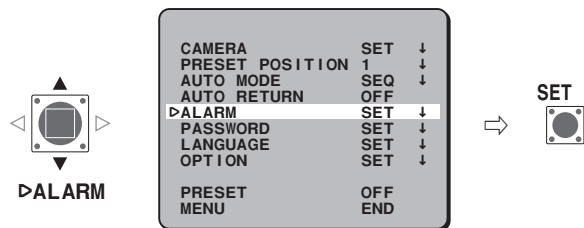
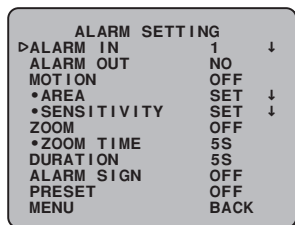
アラームを設定する　<ALARM>

本機の外部アラーム入力は２チャンネルで、外部ドアスイッチや赤外線センサーなどと接続することができます。アラームを検知すると、カメラが自動でプリセットポジションに移動したり、映像のズームアップやアラーム警告の表示などでお知らせします。また、本機に搭載しているモーションセンサーで、侵入者など動きのある被写体を検知することができます。
ブザーやランプなどと接続すると、アラームを検知するとアラーム信号が出力され、ブザーが鳴ったり、ランプが点灯したりしてアラームの発生をお知らせします。

1 〔ALARM〕を選び、SET ボタンを押す

⇨

⇨ALARM SETTING 画面になります。

```
      ALARM SETTING
▷ALARM IN          1     ↓
 ALARM OUT         NO
 MOTION            OFF
 •AREA             SET   ↓
 •SENSITIVITY      SET   ↓
 ZOOM              OFF
 •ZOOM TIME        5S
 DURATION          5S
 ALARM SIGN        OFF
 PRESET            OFF
 MENU              BACK
```

■ アラーム設定画面ガイド

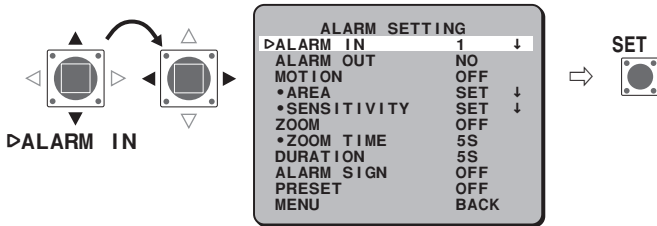
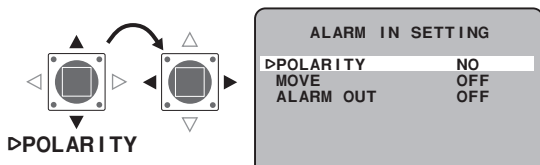
項目	内容	参照ページ
ALARM IN	アラーム入力を設定する	39
ALARM OUT	アラーム出力を設定する	40
MOTION	モーションセンサーを設定する	41
ZOOM	アラーム検知時のズームアップを設定する	43
DURATION	アラーム持続時間を設定する	43
ALARM SIGN	アラーム検知時の警告表示を設定する	44

■ メニュー画面を終了するには
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

■ 前画面に戻るには
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

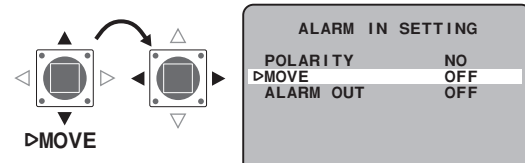
設定編

アラーム入力の設定 < ALARM IN >

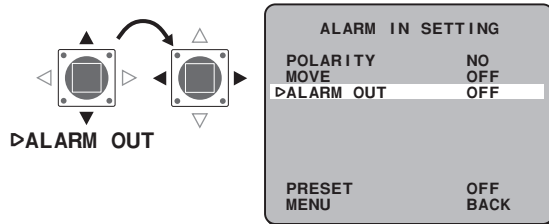
1 〔ALARM IN〕で入力チャンネル（1また2）を選び、SET ボタンを押す

2 〔POLARITY〕を選び、信号の極性を設定する

NO：ノーマルオープン
- 通常はオープンで、クローズになったらアラーム入力を検出します。

NC：ノーマルクローズ
- 通常はクローズで、オープンになったらアラーム入力を検出します。

3 〔MOVE〕を選び、アラームを検知したチャンネルのカメラの動き設定する

アラームを検知すると、アラーム入力チャンネルと同じ番号のプリセットポジションにカメラが移動します。
〔ALARM IN〕の **“1”** で検知すると PRESET NO.**1** に、〔ALARM IN〕の **“2”** で検知すると PRESET NO.**2** に移動します。

ON　：PRESET NO.1 または 2 に移動し、停止する
AUTO　：PRESET NO.1 または 2 に移動し、〔DURATION〕（43 ページ）で設定している時間が経過すると元の監視位置に戻る
OFF　：移動しない

- 〔ALARM IN〕の **“2”** を設定する場合は、必ず PRESET NO.**2** を登録してください。登録していない場合、カメラは移動しません。
- 〔MOVE〕を設定すると、アラームを検知した時のズームアップはおこなわれません。
- アラームとモーションを同時に検知した場合でも、〔MOVE〕を優先します。
- 〔MOVE〕動作中に他の入力チャンネルがアラームを検知した場合は、後から入った入力チャンネルの信号を優先し移動します。〔DURATION〕も新たにカウントします。

4 〔ALARM OUT〕を選び、アラーム出力を "ON" に設定する

ON　：アラームを検知したとき、アラーム信号を出力する
- メニュー画面を表示しているときにアラームを検知しても、アラーム信号は出力されません。

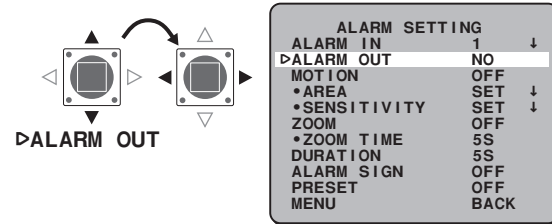
OFF：アラーム信号を出力しない

5 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨ALARM SETTING 画面に戻ります。

注意 シーケンシャルパンまたはオートパン動作中にアラームを検知したら（モーションセンサーも含む)、〔DURATION〕（43 ページ）で設定している時間中、停止します。設定時間経過後、元の監視モードに戻ります。

アラーム出力の設定　＜ ALARM OUT ＞

1 〔ALARM OUT〕を選び、信号の極性を設定する

NO　：ノーマルオープン
- 通常はオープンで、アラームを検知するとクローズになります。

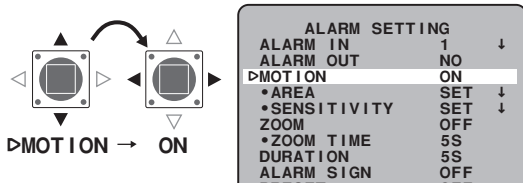
NC　：ノーマルクローズ
- 通常はクローズで、アラームを検知するとオープンになります。

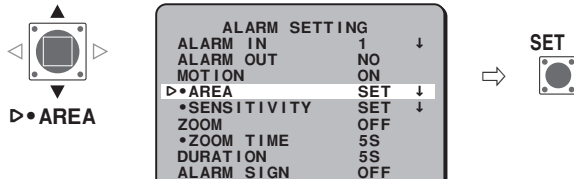
メモ **アラーム出力の電気特性**
- オープンコレクタ（エミッ卜接地）
- 出力定格：18V 25mA

設定編

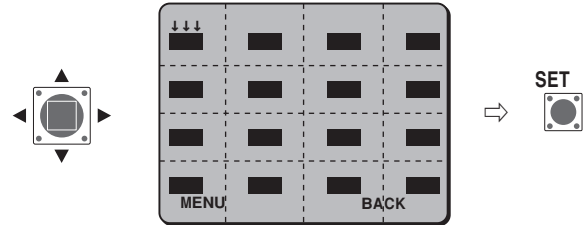
モーションセンサーの設定 ＜ MOTION ＞

モニター映像を 16（4X4）分割し、それぞれのエリアで動きを検知します。

1 〔MOTION〕を選び、"ON" に設定する

ON ：モーションセンサーが反応した場合に検知
OFF ：モーションセンサー無効

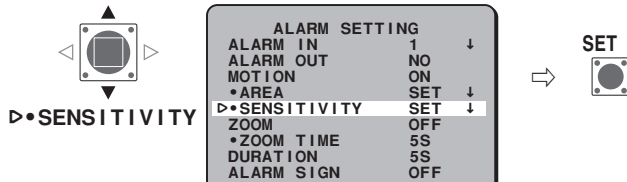
2 〔● AREA〕を選び、SET ボタンを押す

⇨ モーション検知エリア画面を表示します。

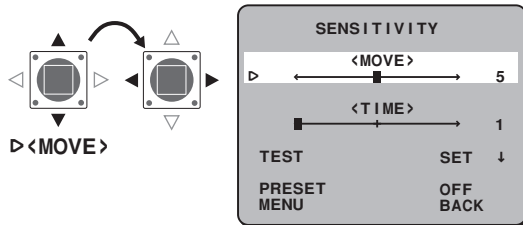
3 モーションセンサーを反応させたくない部分にカーソル "↓↓↓" を合わせ、SET ボタンを押す

例）木の動き、光のちらつきなど頻繁に動きのある部分など

⇨ "■" が "- - -" になります。
再度 SET ボタンを押すと、"■" に戻ります。

4 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨ALARM SETTING 画面に戻ります。

5 〔●SENSITIVITY〕を選び、SET ボタンを押す

⇨SENSITIVITY 画面になります。

6 頻繁に誤検知が起こる場合は、<MOVE> を選び、検知感度を調整する（1 ～ 10）

⇨ 感度値が大きいほど小さい動きに対して反応しなくなります。

7 <TIME> を選び、動作時間を設定する（1-60）

⇨ 値が小さいほど、動きの速い被写体を検知します。

■ モーション検知の感度を確認するには

❶〔TEST〕を選び、SET ボタンを押す
❷ 感度が正しく調整されているか、確認する。
❸ 再度 SET ボタンを押して、テストを終了する

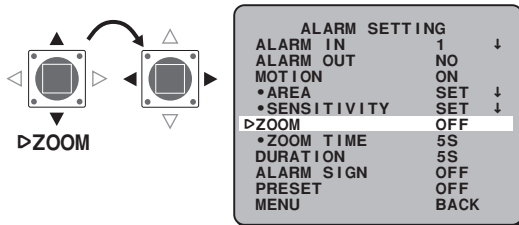
8 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨ALARM SETTING 画面に戻ります。

メモ モーションセンサーが反応したとき、その映像をズームアップします。
また、〔PRIVACY MASK〕（46 ページ）を設定しているとき、〔ALARM SIGN〕（44 ページ）を "ON" にすると、すべてのマスクにアラーム警告 **"A"** を表示します。

設定編

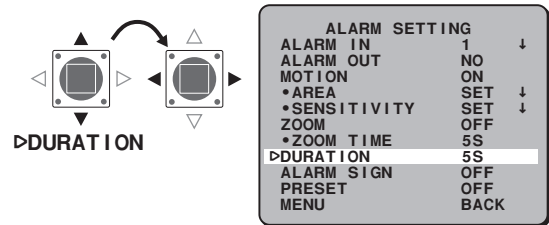
アラーム検知時のズームアップ設定　< ZOOM >

1 〔ZOOM〕を選び、ズーム倍率を設定する（モーション検知を含む）

- × 1.0、× 1.4、 × 2.0、 × 2.6、OFF（ズームしない）、から選びます。

2 〔●ZOOM TIME〕を選び、ズームする時間を設定する（ 1 でズーム設定時）

- 5S、10S、15S、20S、30S、1M、2M、3M、4M、5M から選びます。（S: 秒、M: 分）

アラーム継続時間の設定　< DURATION >

1 〔DURATION〕を選び、アラームの継続時間を設定する

- 5S、10S、15S、20S、30S、1M、2M、3M、4M、5M から選びます。（S: 秒、M: 分）

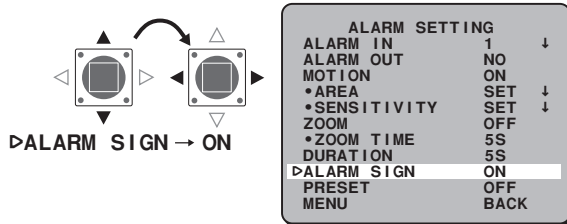
アラーム出力が始まると、設定時間が経過するまで新たなアラーム検知や出力はできません。

■〔●ZOOM TIME〕と〔DURATION〕の設定時間について

それぞれの設定時間は以下の関係になるように設定してください。

〔●ZOOM TIME〕≦〔DURATION〕

アラーム検知時の警告表示設定 ＜ALARM SIGN＞

1 〔ALARM SIGN〕を選び、"ON" に設定する

ON ：アラーム信号が入ると、〔DURATION〕（43 ページ）で設定した時間中、下表のアラーム警告を表示する（モーション検知を含む）

項目	設定	アラーム警告	ページ
TITLE	ON	モニターのカメラタイトルが点滅する	13
PRIVACY MASK	ON	すべのマスクに“A”を表示する ● アラームを検知したとき、マスクがかかっていない映像だった場合は、モニターの左上に“A”を表示する	46

OFF ：アラーム警告表示無効

■ 設定が完了したら

〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

⇨ メニュー画面を終了します。

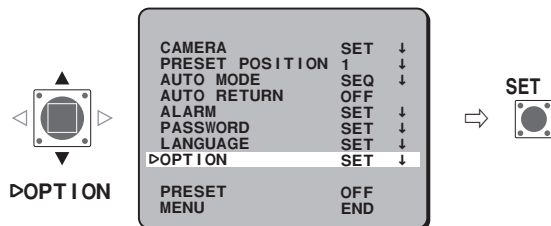
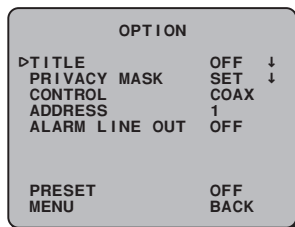
■ 前画面に戻るには

〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

オプションを設定する　< OPTION >

オプション設定はおもにモニター画面や通信条件の設定をおこないます。

1 〔OPTION〕を選び、SET ボタンを押す

⇨

⇨OPTION 設定画面になります。

■OPTION 画面ガイド

項目	内容	参照ページ
TITLE	カメラにタイトルをつける	13
PRIVACY MASK	映像の一部を隠す（8 か所）	46
CONTROL	プロトコルの設定	49
ADDRESS	カメラアドレスの設定	50
ALARM LINE OUT	通信ラインへのアラーム出力の設定	50

■ **メニュー画面を終了するには**

〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

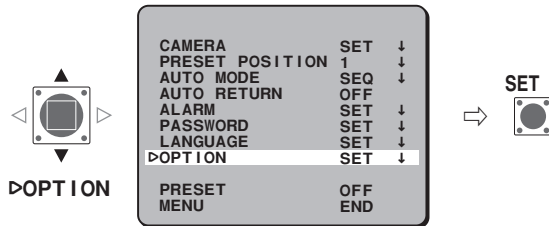
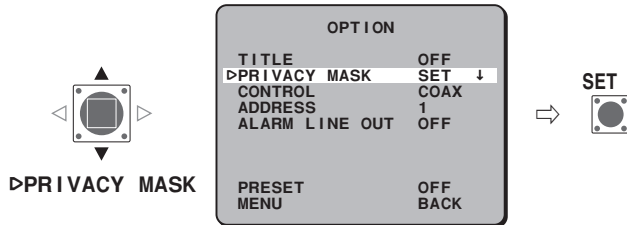
■ **前画面に戻るには**

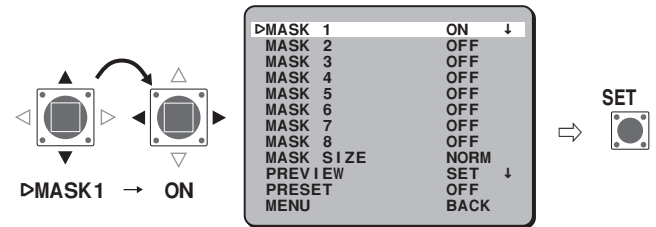
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

映像の一部を隠す　<PRIVACY MASK>

映像のプライバシー保護が必要な場合は、映像に「マスク」を設定して映したくない部分を隠すことができます。
最大８枚のマスクを設定できます。

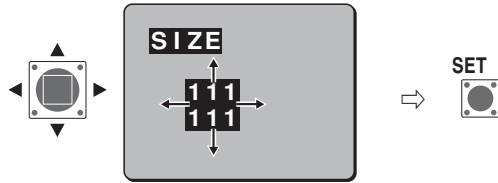
1 〔OPTION〕を選び、SET ボタンを押す

2 〔PRIVACY MASK〕を選び、SET ボタンを押す

⇨ マスク設定画面になります。
　また、カメラが左右に一往復し、水平・垂直回転で起きた位置ずれを元に戻します。

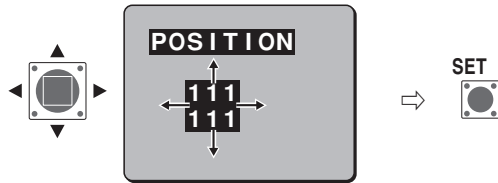
3 設定するマスクナンバーを "ON" に設定し、SET ボタンを押す

⇨DIRECTION 画面になります。

4 隠したい被写体を中央のマスクと重ねて、SET ボタンを押す

⇨SIZE 画面になります。

設定編

5 マスクのサイズを調整して、SET ボタンを押す

⇨POSITON 画面になります。

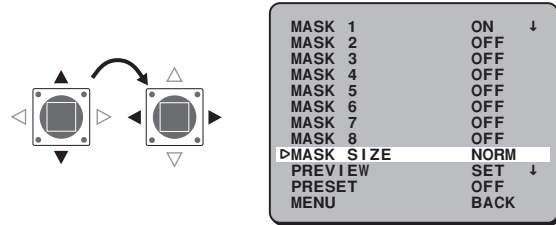
6 マスク位置を微調整して、SET ボタンを押す

⇨ マスク設定画面に戻ります。

■ 複数のマスクを設定するには

3 ～ 6 をくり返す

7 〔MASK SIZE〕を選び、被写体に合わせてマスクの大きさを微調整するようサイズを設定する

水平・垂直回転、またはズーム中に、マスクしている被写体が見えてしまったり、監視したい場所が隠れてしまったりすることがあります。必要に応じて、以下のサイズ補正をおこなってください。

```
MASK  1        ON   ↓
MASK  2        OFF
MASK  3        OFF
MASK  4        OFF
MASK  5        OFF
MASK  6        OFF
MASK  7        OFF
MASK  8        OFF
▷MASK  SIZE    NORM
PREVIEW        SET  ↓
PRESET         OFF
MENU           BACK
```

NORM　：標準

OVER　：NORM より大きいマスクにする

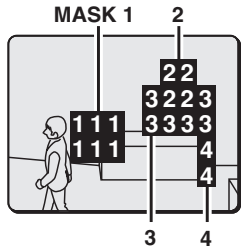
- 水平・垂直回転、またはズーム中でも隠したい映像全体にマスクがかかるよう微調整します。

UNDER：NORM より小さいマスクにする

- 水平・垂直回転、またはズーム中に、監視エリアが隠れてしまわないように微調整します。

■ 設定したマスクの位置を確認するには

❶〔PREVIEW〕を選び、SET ボタンを押す

＜例 : 4 枚のマスクを設定＞

複数のマスクが重なった場合は、小さい方のマスクナンバーを優先します。

❷ 確認したら、再度 SET ボタンを押してマスク設定画面に戻る

注意 マスクを設定している場合は、〔TITLE〕が "ON" でもカメラタイトルはモニターに表示されません。

■ 設定したマスクを消すには

マスク設定画面で、消したいマスクナンバーを "OFF" にする

■ 設定したマスクの位置やサイズを変更するには

❶ マスク設定画面で変更したいマスクナンバーを "ON" に設定し、SET ボタンを押す

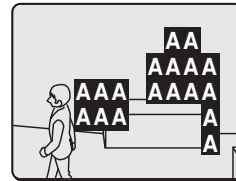
❷ 4 〜 7 をくり返す

8 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨OPTION 画面に戻ります。

■ メニュー画面を終了するには

〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す

メモ
- 〔ALARM SIGN〕（44 ページ）を "ON" にしたとき、アラーム信号が入ると、〔DURAION〕（43 ページ）で設定した時間中、すべてのマスクにアラーム警告 **"A"** を表示します。
- 〔MOTION〕（41 ページ）を "ON" にすると、モーションセンサーが反応したときもマスクに **"A"** を表示します。

- マスクを設定していない映像でアラーム検知やモーションセンサー検知した場合は、アラーム警告表示 **"A"** を画面左上に表示します。

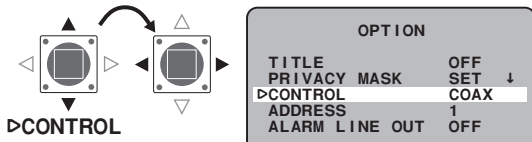
設定編

通信条件を設定する　< CONTROL >< ADDRESS >< ALARM LINE OUT >

遠隔操作が可能なハードディスクレコーダーやシステムコントローラーなどと接続して、本機をコントロールすることができます。その場合の通信条件を設定してください。また、通信ラインへアラーム信号を出力することもできます。

1 〔OPTION〕を選び、SET ボタンを押す

プロトコルの設定

2 〔CONTROL〕を選び、カメラをコントロールするプロトコルを設定する

COAX ：同軸重畳（SANYO；同軸ケーブル使用）
- SSP/Hi-speed SSP/PELCO-C の 3 種類に対応し、切換は自動です。

485S ：RS-485（SANYO）
- SSP/Hi-speed SSP の 2 種類に対応し、切換は自動です。

485P ：RS-485（PELCO-D）

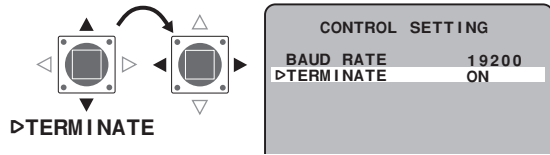
3 詳細設定が必要な“485S”または“485P”を設定した場合は、SET ボタンを押す

⇨“CONTROL SETTING”画面になります。
- "COAX" に設定した場合は、ステップ 7 にすすんでください。

4 〔BAUD RATE〕を選び、通信速度を設定する

- 19200, 9600, 4800, 2400 から選びます。

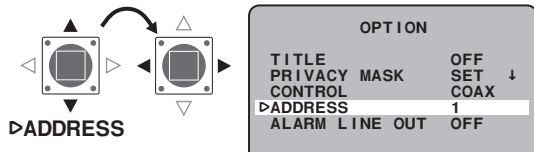
 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

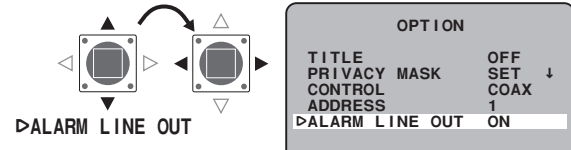
5 〔TERMINATE〕を“ON”または“OFF”に設定する

ON ：本機を配線の終端にする
OFF ：終端にしない

6 〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

⇨OPTION 画面に戻ります。

カメラアドレスの設定

7 〔ADDRESS〕を選び、カメラのアドレスを設定する（0 ～ 127）

通信ラインへのアラーム出力設定

8 〔ALARM LINE OUT〕を“ON”に設定する

ON ：通信ラインへ、アラーム信号を出力する
OFF ：出力しない

■ 設定が完了したら

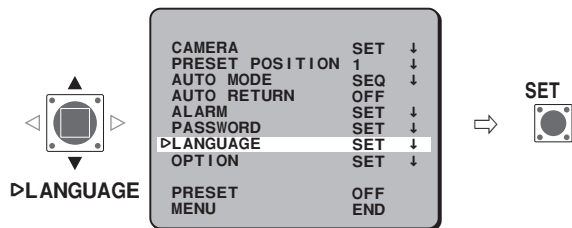
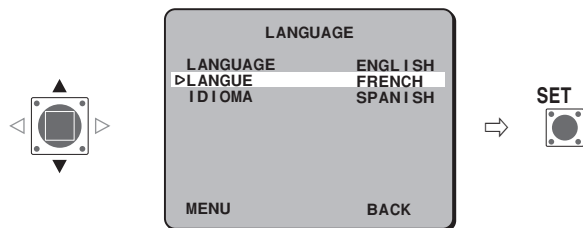
〔MENU〕を "END" に設定し、SET ボタンを押す
⇨ メニュー画面を終了します。

■ 前画面に戻るには

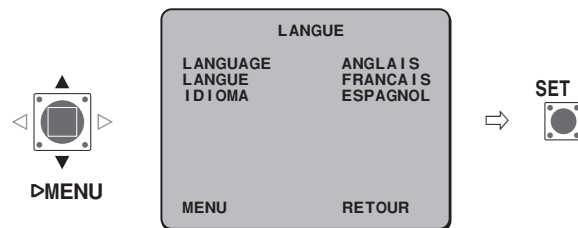
〔MENU〕を選び、"BACK" のまま SET ボタンを押す

メニュー画面の表示言語を選ぶ< LANGUAGE >

メニュー画面で表示する言語を変更できます。（日本語表示はできません。工場出荷時の設定は英語です。）

1 〔LANGUAGE〕を選び、SET ボタンを押す

2 言語を選び、SET ボタンを押す

（フランス語を選ぶ場合）

⇨SET ボタンを押すとすぐに、画面の表示言語が変わります。

3 〔MENU〕を選び、“RETOUR”（BACK または ATRAS）のまま SET ボタンを押す

（フランス語を選んだ場合）

⇨ メインメニューに戻ります。

■ メニュー画面を終了するには

〔MENU〕を "END"（FIN）に設定し、SET ボタンを押す

 メニュー画面へ入るには 11-12 ページをご参照ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前にもう一度、次の項目にしたがって点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げの販売店または工事店に設定 . 調整をご依頼ください。

こんなとき	点検するところ
映像が出ない	● 同軸ケーブルは確実に接続されていますか？ ● 照明は適切ですか？ ● 電源は入ってますか？電源･電圧は正常ですか？（☞ 設置説明書の「接続」）
蛍光灯照明下で映像がちらつく（電源周波数 50Hz 地域）	● フリッカーレスを設定しましたか？（☞18 ページ）
映像がはっきりしない	● レンズが汚れていませんか？ （市販のクリーニングペーパーとクリーニング液を使って軽く拭き取ってください。） ● アイリスを調整しましたか？（☞20 ページ） ● 周囲が暗い場合、感度を上げてみましたか？（☞24 ページ）
逆光で被写体が見えない	● 逆光補正を調整しましたか？（☞19 ページ）
映像の色合いがおかしい	● ホワイトバランスを調整しましたか？（☞21 ページ）
映像のコントラストや輪郭がおかしい	● ガンマ値をかえてみましたか？（☞25 ページ） ● アパーチャーを調整してみましたか？（☞27 ページ）
モーションセンサーの誤検知が多い	● 検知感度を調整しましたか？（☞42 ページ）
（PF-PT500） デイナイト機能でカラーから白黒に切り換わる時に映像が乱れる	● バースト信号を ON にしましたか？（☞29,30 ページ）

仕様

テレビジョン方式		カラー NTSC 準拠
撮像デバイス		1/4 型 インターライン転送方式 CCD
有効画素数		768(水平)×494(垂直)、約 38 万画素
走査方式		2:1 インタレース、走査線 525 本
同期方式		内部同期
映像出力		1.0 V(p-p)/75 Ω , BNC コネクター
水平解像度		520TV 本以上
最低被写体照度		
	PF-PT500	1.2 lx (F1.9 カラーモード、ハイゲイン時) 0.06 lx (F1.9 白黒モード、ハイゲイン時)
	PF-PT490	1.9 lx (F1.9、ハイゲイン時)
映像 S/N 比		50 dB 以上(AGC OFF 時)
レンズ		電動ズームパンフォーカス オートアイリス f=2.8 − 7.3 mm、F=1.9 − 3.0
被写界深度		フォーカス範囲:1m ～ ∞
回転範囲	天井取付	水平(パン):0 − 335 度、 垂直(チルト):0 − 90 度
	壁取付	水平(パン):± 55 度、 垂直(チルト):0 − 90 度
回転速度	プリセット	最大 120 度 / 秒
	マニュアル	5 − 100 度 / 秒
プリセットポジション		最大 16 ポジション可
オートモード		シーケンシャルパン / オートパン
デイナイト機能		
	PF-PT500	**AUTO**:切換照度選択可 COLOR、B/W:外部制御可
	PF-PT490	−
逆光補正		全画面評価測光(高 / 標準)、中央重点測光、**OFF**
ホワイトバランス		**オート**(**ATW**)、ワンプッシュ(AWC)、 マニュアル(MWB)、屋内(3200)、 屋外(5600)、蛍光灯(FLUO)
AGC ゲイン		**標準**(**NORM**)、高(HIGH)、切(OFF)
アパーチャー		**標準**(**NORM**)、高(HIGH)、低(LOW)、 切(OFF)
ガンマ補正		**0.45**/1
フリッカーレス		ON/**OFF**
電子シャッター		**1/60**、1/100、1/250、1/500、 1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
カメラタイトル		ON/**OFF**　最大16文字　タイトル位置調整可
プライバシーマスク		ON/**OFF**　最大 8 か所設定
設定方法		メニュー画面(パスワードロックでアクセス制限可)
アラーム入力		外部入力×2 **ノーマルオープン** / ノーマルクローズ アラームズームアップ / アラーム警告機能 / アラームプリセット機能付き
アラーム出力		外部出力 x 1 **ノーマルオープン** / ノーマルクローズ
モーション検出		ON/**OFF**、モーションズーム機能付き
国際防水防塵標準		
	PF-PT500	IP66
	PF-PT490	−
通信方式		RS-485/ 同軸制御 カメラコントロールユニット(VAC-71:別売)

使用周囲温度		
	PF-PT500	− 10℃〜 50℃
	PF-PT490	− 10℃〜 40℃
使用周囲湿度		90% RH 以下(結露なきこと)
使用電源		AC 24 V ± 10%, 60 Hz/50 Hz DC 12 − 15 V
消費電力		7 W
外形寸法		
	PF-PT500	φ 162.0 x 114.8(H)mm ドーム径:φ 100.5 mm
	PF-PT490	φ 150.9 x 115.5(H)mm ドーム径:φ 99.8 mm
質量		
	PF-PT500	約 1.5 kg
	PF-PT490	約 640 g

- 太字は工場出荷時の設定値です。
- 外観及び仕様は、お断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。

保証と修理サービスについて

● 保証書について
保証書は販売店からお渡しします。
必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。
保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

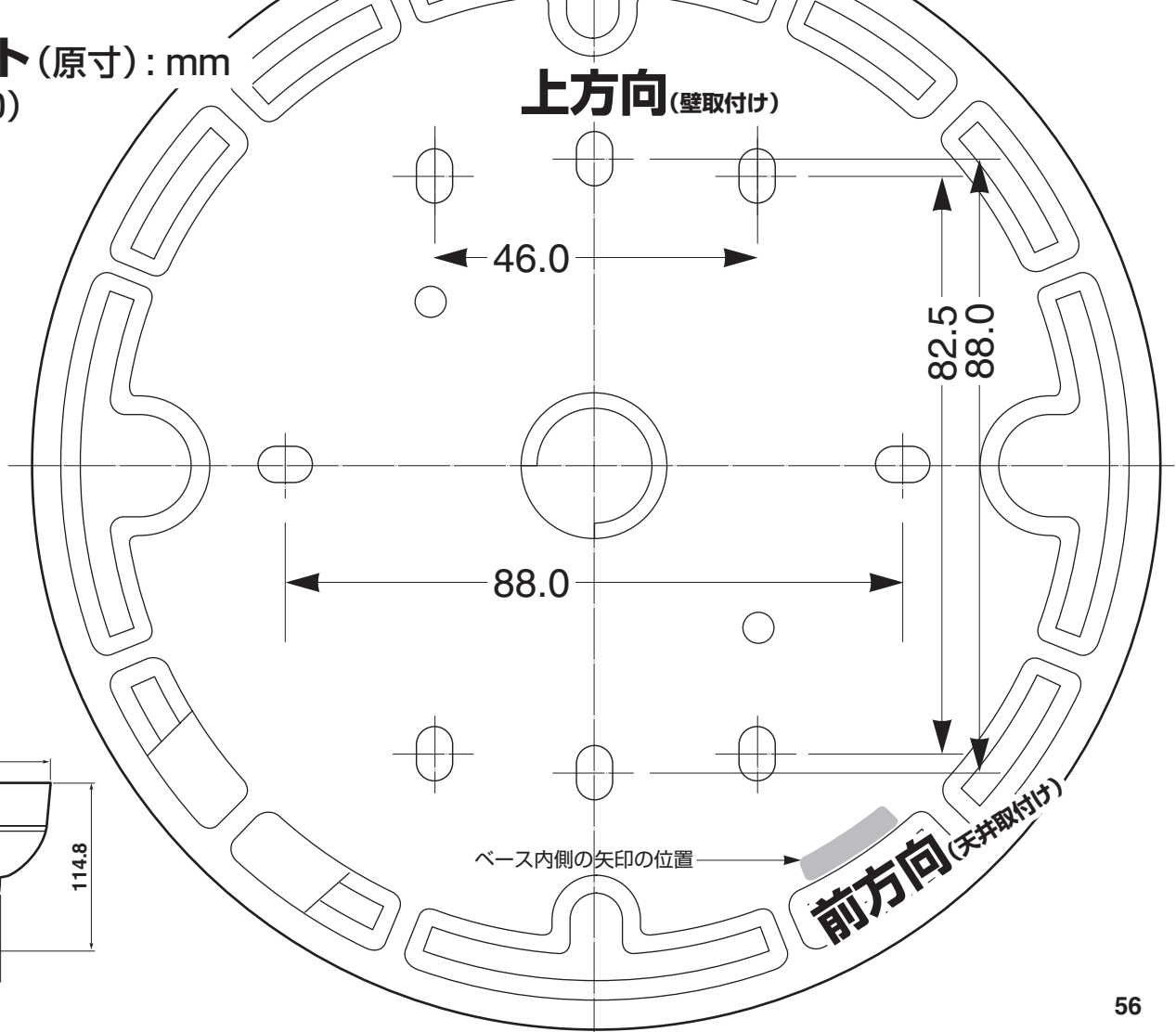
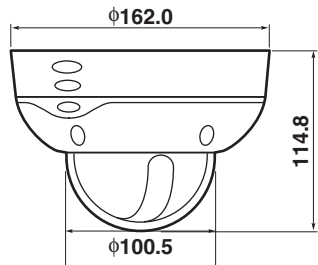
保証期間：お買上げ日から１年

● 保証期間中に修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご連絡ください。
保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

● 補修用性能部品について
当社ではこの製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後８年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

● 〈ご連絡していただきたい内容〉
・ご住所・ご氏名・電話番号
・製品名・型名
・ご購入日 (保証書をご覧ください)
・故障内容
・異常の状況 (できるだけ詳しく)

● 保証期間経過後、修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

● 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

設置シート（原寸）: mm
（PF-PT500）
上方向（壁取付け）
46.0
82.5
88.0
88.0
■ 外形寸法図
φ162.0
114.8
φ100.5
ベース内側の矢印の位置
前方向（天井取付け）

設置シート（原寸）：mm
（PF-PT490）
上方向（壁取付け）
45.5
83.4
前方向（天井取付け）
■ 外形寸法図
φ150.9
115.5
φ99.8

愛情点検	●長年ご使用の機器の点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。
	このような症状はありませんか ●電源を入れても映像が出ない。●コードを動かすと通電しないことがある。●映像が時々、消えることがある。●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ご使用を中止 故障や事故防止のため、コンセントからはずして必ず販売店にご相談下さい。

株式会社　エルモ社

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

本社	名古屋市瑞穂区明前町６番14号	☎(052)811-5131	〒467-8567
本社第１営業部	名古屋市瑞穂区明前町６番14号	☎(052)824-1571	〒467-8567
本社第２営業部	名古屋市瑞穂区明前町６番14号	☎(052)811-5261	〒467-8567
東京支店	東京都港区三田３丁目12番16号　山光ビル４階	☎(03)3453-6471	〒108-0073
大阪支店	大阪市中央区東高麗橋２番４号	☎(06)6942-3221	〒540-0039
九州支店	福岡市博多区冷泉町２番８号　朝日プラザ祇園２階	☎(092)281-4131	〒812-0039
仙台営業所	仙台市青葉区中央４丁目10番14号　エノトセーフビル２階	☎(022)266-3255	〒980-0021
広島営業所	広島市中区小町５番８号　ドルチェ２階	☎(082)248-4800	〒730-0041

URL:http://www.elmo.co.jp

RO-Bx

【保証規定】

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満１年間無料修理を致しますので、お買い上げ店か取扱い説明書に記載されている当社サービス機関にお申し出ください。尚、お買い上げ店または当社サービス機関にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。また、お買い上げ店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
   (1) 使用上の誤まり（取扱い説明書以外の誤操作等）により生じた故障
   (2) 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障および損傷
   (3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、公害、落雷、異状電圧およびその他の天災地変等による故障および損傷
   (4) お買いあげ後の輸送、移動、落下保管上の不備等による故障および損傷
   (5) 本保証書の添付のない場合
   (6) 販売店名、ご購入年月日等の記載事項を訂正された場合
3. 本製品の故障に起因する付随的損害については補償致しかねます。

※　ご注意

1. 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 本保証書の表示について、ご不明な点は取扱い説明書に記載さている当社サービス機関にお問い合わせください。

【保証書取扱い上のご注意】

1. 本保証書をお受け取りの際は、販売店名及び購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし、記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
2. 本保証書は紛失されましても再発行致しませんので、大切に保存してください。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

【アフターサービスについて】

1. 修理完了品には、当社より修理明細書（修理伝票）が発行されますので、修理品をお受け取りの際ご確認ください。
2. 部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、取扱い説明書に詳しく記載されておりますのでご覧ください。又は最寄の弊社営業所へお問い合わせください。
3. 保証期間経過後の修理等についてのお問い合わせは、取扱い説明書に記載されているお近くの当社サービス機関をご利用ください。

ELMO

品質保証書

お名前

殿

ご住所

品　名 PF-PT500
型　名 PF-PT490

機体番号

ご購入日
年　月　日

本保証書は弊社の品質管理のもとに製造され諸検査に合格して出荷されたものであることを証明するものであります。

保証期間　：　１ヶ年

株式会社　エルモ社
名古屋市瑞穂区明前町 6-14 ☎ 052-811-5131

販売店名及び住所

※保証内容につきましては裏面をごらんください